

2019年度(令和元年度) 学校関係者評価結果 (2020年3月実施)

JCHO 東京山手メディカルセンター附属看護専門学校

JCHO 看護専門学校の自己評価表に基づき自己点検・自己評価を実施した結果に基づき、学校関係者評価を実施いたしました。その際、2019年度重点目標について実施・結果・評価について報告し助言を受けました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、評価委員の基にそれぞれ伺い、結果を説明する方法で実施いたしました。その結果について公表いたします。

1) 実施日時

日時 2020年2月20日(木) 14:00~15:00

2020年3月25日(水) 9:00~10:30

2) 実施場所

JCHO 船橋中央病院附属看護専門学校 JR 東京総合病院高等看護学園

3) 学校関係者委員

西山 由紀子 : JCHO 船橋中央病院附属看護専門学校 教務主任

佐々木陽子 : JR 東京総合病院高等看護学園 教頭

4) 総評

よりよい教育活動になるように、様々な取り組みをしている。初年次教育や、入学前教育への取りくみなど、注目すべき取り組みだと思うので、実施したことを評価して次年度に活かせると良い。

3) 学校関係者カテゴリーごとの評価

カテゴリー	分析・課題
I 教育理念・教育目的 3.0点	教育理念の見直しにより地域医療機能推進機構の特徴はについて明確に述べられている。教育内容とのつながりを明確にするとよい。
II 教育課程 2.8点	教育課程を共通認識できるよう全教員で指導案検討の機会を持つことは継続していく。学生の授業評価についての講師へのフィードバックをシステム化するとよいのではないか。
III 教授・学習・評価過程 2.8点	評価の公平性、妥当性について、評価方法、評価基準を見直したので、次年度運用し、学生にとって次への課題が明確になるように関わるよう期待する。
IV 組織・管理運営 2.6点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生生活の支援体制に力を入れており、継続していく。 ・ 災害など非常時の危機管理体制の整備として、マニュアルの見直しや、学生の安否確認システム等を整備し、危機管理に取り組まれることを期待する。

V 入学	3.0点	指定校推薦の出願基準の明確化により、前年度に比べて応募数が増加している。今後は質の高い学生の確保につながるよう、取り組むことを期待する。
VI 卒業・就業・進学	2.5点	学生の希望、特性に合わせた進路選択支援をしているので、今後も継続していく。
VII 地域社会貢献・国際交流	2.6点	新たなボランティア組織とのつながりができたので、学生が様々な体験ができるよう取り組むことを期待する。
VIII 教職員の育成	2.8点	教員の年間教育計画の立案をする、ラダーに沿った教員の自己評価をする、など目標をもって教員が取り組める工夫をした方がよいのではないか。系列看護専門学校との交流計画等立案したらどうか。
IX 法令の遵守	2.8点	学校関係者評価の実施を受けて、よりよい学校づくりに取り組んでいくことを期待する。

4) 重点取り組み項目についての評価

1. IV 組織・管理体制

●初年次教育の内容の整理と体系化の実施について

一年間を通して、主体的な学習者として変容できるよう支援を実施しました。具体的には、基礎的な学力や学習方法、さらに看護学生として望ましい態度を身に付けられるように、学習目標・計画の立案から実施後の振り返り、上級生との学生間交流、さらに必要がある学生に対しては個別的な支援を行いました。さらに内容をブラッシュアップして次年度につなげていけるように助言を受けました。

2. V 入学

●広報活動について

オープンキャンパス来校者の方が受験していただけるような取り組みとして、模擬授業を実施いたしました。この授業への参加者は少数であったため次年度に向けて内容を変更していき受験生数を増やしていく努力をします。

指定校推薦について

今年度は出願者も多く高校への周知が徹底されるような活動が効果をあげたと評価されました。評価委員の方の学校での、指定校の決定方法について助言をいただいたので参考にしていきます。

3. VII 地域社会貢献／国際交流

●地域社会への貢献体制について

ボランティア活動への参加について例年の課題でしたが、今年度は新たな施設のボランティアをさせていただくことができました。今後も継続していけるように関係維持に努力をします。

以上、学校関係者評価を受け、より客観的に学校の課題について認識することができましたので、今後の教育活動に活かしていきます。